

土木会通信

第13号 平成30年7月17日

祝 柳下文夫先生、名誉教授の称号授与

柳下名誉教授に近畿大学在職中の思い出と近況をご報告いただきました。

近畿大学に教員として採用（昭和58年/1983）していただき、35年間有意義に過ごすことができました。採用に関しては現在の公募システムとは異なり推薦によるものでしたので結果としてはラッキー感が強く、他面、法人・学部・学科に対する感謝の念を強く持ち続けることができたものと思っております。人生の半分以上の期間を近畿大学で過ごし、その間多くの学生諸君や教職員の皆さんと出会い、数々の思い出を作ることができました。自身の学生時代に先生に言われた“人生は邂逅である”との言葉を重ね合わせつつ、関係各位にあらためて感謝申し上げる次第です。

さて、特に思い出深いのは、海外留学（ニュージーランド・カンタベリー大学）中に兵庫県南部地震と地下鉄サリン事件が発生したことです。震災に関連して“近畿大学理工学部土木工学科の学生&教員の全員がボランティアとして活躍”という報道がマスメディアに取り上げられる中、直接関わることが出来なかったもどかしさを忘れることが出来ません。また、震災数年前から阪神高速道路公団(当時)の耐震補強の評価委員であったことから尚更です。しかし、震災直後の海外調査団の受け入れが厳しく制限される中、最初の受入国であるニュージーランド調査団(団長：故ロバート・パーク教授、私の担当教授)の受入交渉に直接関与できたことは何とも皮肉であったとの想いです。

この35年間で近畿大学も大きく変わり、また変わりつつあります。近年、新旧話題（近大マグロ・近畿大学史上最大の約400億円を投じた大規模なキャンパス整備計画・入学試験受験者増・他）をもって大学が多々紹介されていることは周知の通りです。また、ホームカミングデー等卒業生の方々に対する各種サービス・優待、交流の場などが提供されていますので、変化を実見されていない方は是非一度ご来学ください。

以上、長くなりましたが、これまでたくさんの皆様に大変お世話になりました。思い出の詰まった近畿大学の発展と皆様のご健勝を祈念し退職の挨拶とさせていただきます。重ねて、ありがとうございました。

2018年6月

追記：退職を機に北海道札幌市に転居致しました。遠く離れてしまいましたが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



昭和58年土木工学科教員集合写真

麓准教授が在外研究（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）から帰国されましたので、スウェーデン・ルンド大学での研究生活についてご報告いただきました。

在外研究の報告 ～北欧見聞録～

近畿大学理工学部社会環境工学科

准教授 麓 隆行

2017 年 4 月～2018 年 3 月まで 1 年間、近畿大学内の在外研究制度により、スウェーデン南端のまち、ルンドに滞在しました。ストックホルムから電車で 5 時間半ほどかかりますが、デンマークとの国境に近く、コペンハーゲン国際空港から電車で、約 40 分で到着します。ルンドは、1658 年のロキレス条約以降スウェーデン領となった都市で、1666 年に設立されたルンド大学を中心に発展してきました。ルンド大学は 2016 年末に 350 周年を迎え、近年でも理工系施設では大型放射光施設や中性子線源などの最新設備の建設が進められるなど、ヨーロッパでも屈指の総合大学です。

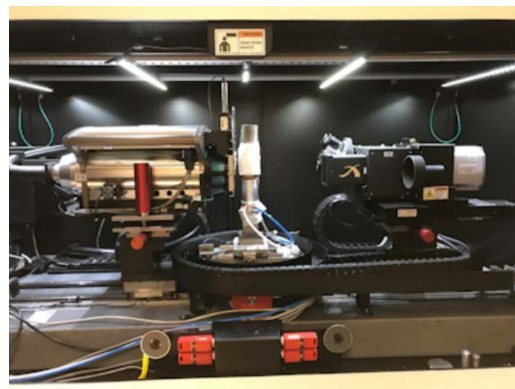
私は、近年研究で使用してきた X 線 CT で得られる 3 次元画像のための画像計測法を学びに、機械工学系の固体力学分野にお世話になりました。滞在先では、先方の X 線 CT 装置を用いたセメントペーストが凍結する際の内部膨張計測を試みました。また、近畿大学で得られていた 3 次元画像を用いた圧縮応力下のコンクリート供試体内部の計測も試みました。まだまだ、初期段階ではありますが多くの方に手助けいただき、少しずつ進めることができました。

ルンドで体験したスウェーデンでの生活も興味深いものでした。パーソナルナンバー（日本で言うマイナンバー）が 1947 年より活用され、すべての情報が統合されています。そして、その情報は共有され、収入、税金、各種手当、病歴等、合理的に活用されています。またフィーカと呼ばれる文化を生かした 1 日 2 回のコーヒーブレイクは、普段の学生同士の情報交換だけでなく、出身や人種の異なる人々が価値観や習慣を共有していく合理的な風習だと考えられます。また、日本のテレビで取り上げられるように、キャッシュレス化が進んでいる先進的な国でした。

本年は、スウェーデンと日本が国交 150 周年を迎え、多くのイベントが行われると思います。身近では、IKEA でミートボールやザリガニ料理など、スウェーデン文化の一端に触れることができます。機会があれば、合理的でおしゃれな北欧文化に触れてみて下さい。



ルンド中心部にある大聖堂



ルンド大学の X 線 CT 装置

近畿大学『The Lounge』にて『中野会』を開催しました

近畿大学土木会 会長 野田 文久(昭和55年)

平成28年8月に再会して2回目の『中野会』を平成30年6月16日に開催しました。2年前に開催した『中野会』は、ホテルにて行いましたが、今回は新しく大学内に開設されたアカデミックシアターにある『The Lounge』にて開催しました。

中野会当日には、昭和42年3月卒業生から平成9年3月卒業生の計35名の方々にご参加いただき、近畿大学の変貌ぶりに驚き、近大鮪や近大の養殖魚を食しながら、昔話に花を咲かせました。

また、柳原准教授にも来賓としてご隣席いただき、近畿大学の近況についてお話を頂きました。次回の『中野会』は、2～3年後に開催を計画し、その際には、中野ゼミ以降の土質工学のゼミとも共催できるかどうかを模索することといたしました。

なお、中野ゼミ卒業以外の方でも、中野会にご賛同いただき、参加をご希望の方は、「土木会」までお問い合わせ下されれば、案内をさせていただきますので、よろしくお願い致します。



近大マグロのにぎり寿司とお刺身

土木会活動案内

役員会開催案内

平成30年10月6日(土)午後3時～午後3時30分
近畿大学31号館602教室において近畿大学土木会役員会を開催します。ご出席をお願いします。

キャリア支援講演会開催案内

平成30年10月6日(土)午後3時30分～午後5時30分
近畿大学31号館603教室において約12の団体・企業から卒業生にお越し頂き、在学生へのキャリア支援講演会を開催いたします。



交流会開催案内

キャリア支援講演会后、4号館3階「The Lounge」にて交流会を開催します。卒業生、在学生、現職・退職された先生のご参加をお待ちしております。昨年は多数の皆さんにご参加いただき、盛況な交流会を開催することができました。



【編集後記】土木会では、平成31年の会員名簿発行に向けて、会員各位に名簿調査表を随時発送しております。登録情報に変更がありましたら、ご返信くださいますようお願いをお願い申し上げます。

近畿大学土木会事務局

〒581-0811 八尾市新家町8-23-1 東山教授室内

TEL06-4307-3553

e-mail: dobokkai@civileng.kindai.ac.jp